

ぬまづ憲法9条の会

199号
9月1日 発行
事務局
神田健夫
055-921-7755

戦争に おさらばするには

化に向かっ
ているよう
です。各国
の国民の多

ウクライナ戦争が起こっ
てからずっと気持ちが悪
く感じています。停戦に向
かう道が全く見えません。

停戦にこぎつけたとして
も、ロシアに対するウクラ
イナの人々の憎しみは何十
年も続くことでしょう。ロ
シアの人々もウクライナか

らの報復を恐れ続けること
になるのではないでしょう
か。殺りくと破壊、そして
何世代も続く憎しみと恐怖。
山火事と同じように、ひ
とたび燃え盛ったら手がつ
けられなくなるのが戦争で
す。

この状況のもとで、日本
を含めて多くの国々の指導
者が「自衛」という名目で
軍備の増強と軍事同盟の強

くもそれを求めているよう
に思えます。

だがちよつと待つてくだ
さい。軍備や同盟関係を強
化し力づくで平和を維持す
るといふ発想は、もうとつ
くに破綻しているのではな
いでしょうか。

実際に、今回だけでなく
今までもずっと、戦争は防
げませんでした。軍備の増
強は隣国に対する不信感と
恐怖感を増幅させて、その
不信感と恐怖感がまた軍拡
競争をエスカレートさせま
す。殺りくや破壊の道具を
作り続けることになるのでし
う。

その莫大な費用を負担す
るのは各国の一般の人々で

す。ひとたび武力衝突の火
花が散ると、軍事同盟は火
に油を注ぐことになってし
まいます。戦場に駆り出さ
れるのも破壊の被害を受け
るのも、各国の普通の人々
です。

すでに起こってしまった
この戦争をどのように解決
すべきか、糸口すら見えず、
ただオロオロするばかりで
す。

でも、この先戦争を起こ
さないようにするには、他
の国の人々に対して憎しみ
をおおるような言説を安易
に信じないこと、そしてそ
んな言説を広めないこと、
戦争の原因を探り、防ぐ手
立てを考えること、さらには、
世界中のすべての国が、軍
備の縮小、そして廃絶に向
かって進むことが絶対に必
要なのではないでしょうか。

とはいえ、それを「国家」
という利益集団の指導者た
ちに求めるのは、本質的に
不可能なように思えます。

国という枠組みを超えて
世界中の人たちが直接手を
結ぶことはできなければ、
おそらく人間は戦争におさ
らばすることはできないの
ではないかと思えます。

投稿 ぬまづ憲法9条の会・藤巻謙一

何もできない岸田内閣

今、岸田自民党内閣は
「国葬」の反対世論、選挙
支援を受けた旧統一協会と
の癒着を説明できず、コロ
ナ感染と物価高騰への無策
で、岸田内閣支持率36%、
不支持率54%と逆転した。
(毎日新聞8月21日)

台湾有事で軍備拡張

だが、岸田首相は山積す
る問題に野党の臨時国会開
催の要求を拒否している一
方、米国の「台湾有事」を
受けて軍備拡張を着実にす
すめている。

日米共同作戦計画の原案
を策定し、南西諸島に軍事
拠点おき、「ミサイルの壁」

を築いて中国軍の進出をブ
ロックしようとしている。
そのために、防衛費を1
0兆円以上と改憲を急いで
いる。

改憲は戦争への道

主催 戦争させない 憲法壊すな

沼津の会 第72回

日時 9月18日(日)

13時30分

会場 沼津中央公園

集会・スタンディング

○9条改憲許さない

○軍備拡大に反対

○ロシアはウクライナ侵略を

止め即時撤退

雨天中止

土曜日・駅頭

スタンディング

場所 JR沼津駅南口

井上靖記念碑前

9月3日、10日、

17日、24日

○9条改憲許さない

○軍備拡大に反対

○ロシアはウクライナ侵略を

止め即時撤退

自家製プラカードを持って立つて
も腰掛けても参加できます。

安倍首相の国葬に反対します

あえていいませんが、安倍元首相が亡くなったことによつて、彼のこれまでの数々の悪政の責任が消えるわけではありません。

安倍氏は日本の憲政史上最長の首相となり、「安倍一強政治」ともいわれるような状況をつくりだし、その間、行政を歪め、権力を私物化し、歴史修正主義、民主主義破壊、軍拡、解釈改憲、その他数多くの憲法違反の悪法を強行成立させてきました。

私たちは、今までの安倍元首相の悪政を絶対に忘れてはならないし、なかつたことにしてはなりません。安倍政権8年8カ月の悪政は民衆の手で清算されなくてはなりません。(9条メール・マガジン8月10日発行 編集後記 T)

反対の理由

* 国葬に法的根拠なし

* 憲法研究者が「国葬反対」

84氏が声明

国民の諸権利侵害の恐れ

* 国民の多数が反対

世論調査 国葬

NHK

評価する36% 評価しない50%

* 内心の自由侵す

* 安倍氏の疑惑を説明せよ

* 葬儀に税金は変

* 弔意、掲揚を求めるな

* 安倍元首相の「国葬」中止を求める

著名人17氏呼びかけ

賛同署名開始

* 国葬参列に公費差し止め

求める 北海道 弁護士ら

住民監査請求

住民監査請求

* 「法の下の平等」に違反

何を成し遂げたか 客観的な評価必要

価値必要

平和への誓い

2022年8月6日

ことも代表

広島市立幟町小学校6年

バルバラ・アレックス

広島市立中島小学校6年

山崎 鈴

あなたにとって、大切な人は誰ですか。

家族、友だち、先生。

私たちには、大切な人がたくさんいます。

大切な人と一緒に過ごす。

笑い合う。

そんな当たり前の日常はとも幸せです。

昭和20年(1945年)

8月6日 午前8時15分。

道に転がる死体。

死体で埋め尽くされた川。

「水をくれ。」 「水をください。」という声。

大切な人を一瞬で亡くし、

当たり前の日常や未来が突然奪われました。

あれから77年経ちました。

今この瞬間も、日常を奪われている人たちが世界にはいます。

戦争は、昔のことではないのです。

自分が優位に立ち、自分の考えを押し通すこと、それは、強さとは言えません。

本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手

を理解しようとするということです。

本日の強さをもてば、戦争は起こらないはずですが、

過去に起こったことを変えることはできません。

しかし、未来は創ることができます。

悲しみを受け止め、立ち

上がった被爆者は、私たちが

のために、平和な広島を創ってくれました。

今度は私たちの番です。

被爆者の声を聞き、思いを

想像すること。

その思いをたくさんの人に

伝えること。

そして、自分も周りの人も

大切にし、互いに助け合う

こと。

世界中の人の目に、平和な

景色が映し出される未来を

創るため、私たちは、行動

していくことを誓います。

お知らせ 映画
わが青春つきるとも

伊藤千代子の生涯



戦争と無権力の時代

反戦と主権在民を掲げ

闘い斃れた

若き女性の真実の物語

井上百合子 窪塚俊介

竹下景子 金田明夫

桂壮三郎監督

上映日 9月19日(祝日)

1回目 午前10時

2回目 午後13時30分

会場 三島市民文化会館

前売券 1200円

当日券 1500円

* 問合せ先

三島 金子090-3425-6970

沼津 勝呂090-7952-1214

田方 高梨080-5167-3792

駿東 茅根055-972-6264

主催 東部良い映画を観る会